

8月の図書館

2023. 8. 15
美幌町図書館長 竹花 史康

八月や六日九日十五日

これは、作者未詳ではありますが、ちょっと有名な俳句です。日付は、広島に原爆が投下された8月6日、長崎の8月9日、終戦記念日の8月15日であることは誰もが知っていると思いますが・・・でも、そうでもないのかもしれませんが。

それでも、78回目の終戦の日を迎え、今年もやはり思うことがあります。

如の原作を高畑勲監督がアニメ化したジブリ映画、「火垂るの墓」でした。

今年の8月の映画は、「真夏のオリオン」を選んでみました。アメリカの最強駆逐艦と戦う日本の潜水艦の兵士たちを描いた作品です。攻撃するための魚雷は残り一つ、潜水艦内の酸素はわずか1時間分だけ。そんな、究極の状況のなか、艦長は愛する人から託された希望を最後まで持ち続けます。残酷で悲し過ぎる戦争のなかで、その希望が、兵士たちの「命」を救う話です。

8月は、戦争を経験したことがない私に、「戦争」を思うことの意味をいつも教えてくれます。

そのため、「火垂るの墓」や「真夏のオリオン」のような映画や文学、芸術の力を借りることも大切ではないかと思っています。

とりわけ、8月の図書館の役割は大きいと、そう思うのです。

